

令和5年度 フェローシップ事業&次世代プロジェクト 採択者合同ガイダンス・交流会

2023(令和5)年4月12日(水) 16:30~18:00
於オンライン(oVice)



16:30～16:55 第一部 全体ガイダンス (25分)



17:00～17:25 第二部 支援区分別ガイダンス (25分)

- ・次世代生 + 村山先生 石田先生
- ・フェロー：情報AI + 飯島先生 山崎先生
- ・フェロー：未来健康科学 + 本田先生 弥富先生



17:35～18:00 第三部 学生交流会 (25分) ★先輩も来ます！

- ・計7グループ



18:00 終了～自由交流



第一部

全体ガイダンス

16:30～16:55

- (1) 本学における博士支援体制について
- (2) フェローシップ事業、次世代プロジェクトについて
 - ・フェローシップ事業の概要
 - ・次世代プロジェクトの概要
 - ・博士課程のキャリアパス構築：PhDリクルート室の取組について
- (3) 事務連絡
- (4) 今後の予定
- (5) 質疑応答

→ 第二部へ



地域の活性化・再生化を牽引する優秀な博士人材育成

新潟大学博士後期課程活性化プロジェクト（仮称）

キャリア開発・育成コンテンツ

PhDリサーチサポート室

国際レベルの
新規性の高い

専門研究力

PhDリクルート室

未来社会の変革を
創り出す

挑戦力・融合力

展開力・人間力

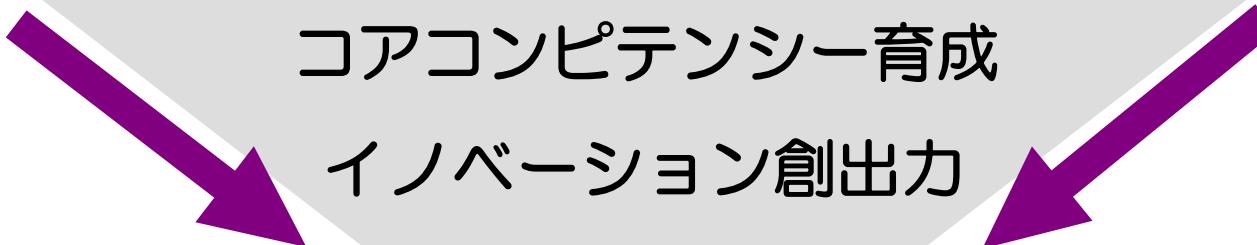
マルチラボシステム

キャリアパス多様化支援

コアコンピテンシー育成

イノベーション創出力

产学研官の多様な分野で
活躍する博士人材



新潟大学における博士（後期）課程学生総合支援体制

統括



本田 明治

メンター教員

●現代社会文化研究科



長尾 雅信 伊藤 龍史 豊田 光世

●自然科学研



中馬 吉郎 関島 恒夫 安田 浩保

●医歯学総合研究科



井上 誠

室長



村山 敏夫

協力



弥富 洋子



永井 直人

PhDリサーチサポート室



研究相談



アカデミア



産業界



支援金

特任助教が相談内容に応じて振分け



石田 悠貴 當銘 香也乃

PhDリクルート室

phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp

相談



- Q. マルチラボ受け入れ先
- Q. 融合研究アイデア
- Q. キャリアパス ...etc.

博士学生

新潟大学フェローシップ事務局

fellowship@gs.niigata-u.ac.jp

新潟大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局

nu-jisedai@gs.niigata-u.ac.jp

PhDリクルート室メンバー



本田 明治 弥富 洋子 石田 悠貴 當銘 香也乃

協力教員



飯島 淳彦 村山 敏夫 寺尾 豊 永井 直人

下部組織



新大
院生会



学年	フェローシップ事業	次世代プロジェクト
D4	5人	3人
D3	14人	12人
D2	12人	18人
D1	9人	15人

(R5.4.1時点)



2022年度合同定例シンポジウム（年度末報告会）

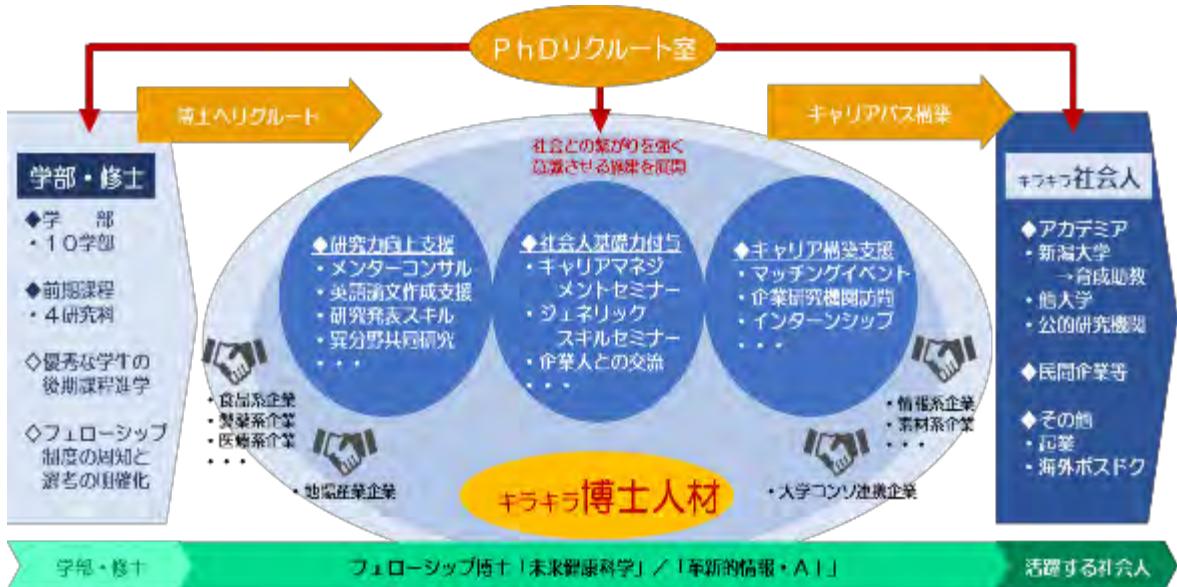
新潟大学

フェロー
シップ

フェロー・シップ事業

通称：フェロー・シップ

本事業はフェローシップを全学的に制度化し、優秀な博士学生にフェローシップを支給するとともに、「PhDリクルート室」が核となり、**産業界や地域社会と連携しながら学生の研究力向上とキャリアパスの構築支援**を一体的に行う。また、学部や修士課程の大学院生に、博士課程への進学を意識させるアカデミアリクルートのための**魅力的な学位プログラムの構築**も推進する。



未来健康科学分野、 革新的情報・AI分野 二分野の専門性を強化

►英語論文作成支援、
実践的データ分析講習等

アカデミア、産業界への キャリア形成プログラム

►産業界への理解を深め、
ジェネリックスキルを獲得

- ・産業界で活躍する博士人材育成の強化
- ・支給金額200万円（研究専念支援金180万円、研究費20万円）
- ・3年間支援（D1～D3、医歯系はD2～D4）
- ・全学で年間14名（未来健康科学分野7名、情報・AI分野7名）

補助金の他、企業や一般の方からいただいた寄付金から支給されています。

申請条件3. 次に掲げる事項を遵守できる者とする。

- (1) 研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。
- (2) 採用後に本学リサーチ・アシスタント (RA)に申請すること。
- (3) キャリアパス形成に関する指定された授業等（企業等との交流会、各種セミナー等を含む）を受講すること。
- (4) 本学が実施する研究力向上等に関するプログラムに参加すること。
- (5) 研究の進捗状況を確認するため、毎年度末に研究成果報告書を提出すること。
- (6) メンターによる面談を半年に一度程度受けること。



R4年度 メンター面談の様子

情報・AⅠ（分野指定型）

本学が社会の要請に応じた研究力強化・大学院強化の重点分野として設定する文理融合型「革新的情報・AⅠ」領域において、次世代の社会のリーダーとしてアカデミアのみならずIT、情報、マテリアル、医療機器、官公庁などの幅広い産業界で活躍する優れた人材を育成する。

1. 英語論文作成能力、国際学会発表能力、実践的データ分析スキル向上への支援
2. IT系・データサイエンス系・マテリアル系・医療機器系企業との連携・共同研究の推進
3. 学内分野横断型研究推進イベント「U-goサロン」の参加発表支援（毎年参加）
4. BDA研究センターのイベント（毎年1回）他、学内各種セミナーへの参加

未来健康科学（ボトムアップ型）

本学が社会の要請に応じた研究力強化・大学院強化の重点分野として設定する文理融合型「未来健康科学」領域において、次世代の社会のリーダーとしてアカデミアのみならず医療機関、創薬、食品、環境、官公庁などの幅広い産業界で活躍する優れた人材を育成する。

1. 英語論文作成能力、国際学会発表能力、国際交流能力向上への支援
2. 食品系・医療系・環境系企業との連携・共同研究の推進
3. 海外連携大学との国際交流の推進（G-DORMなど）
4. 学内分野横断型研究推進イベント「U-goサロン」の参加発表への支援1回/年（毎年参加）

1. 研究進捗状況の確認

年度当初に提出する研究計画書（研究計画、フェローシップ活動計画、修了後のキャリアパスの予定）に基づいて、メンターによる面談を通じて活動状況を確認する。また年度末に提出する研究報告書及びシンポジウム等により、年度単位で審査を実施する。

2. 分野間交流・分野横断研究推進

メンターとの合同ミーティング、フェローシップ生の意見交換会、PhDリクルート室実施プログラムやU-goサロン等への積極的参加を通じて、分野間交流・分野横断研究を積極的に推進する。

3. キャリアパス形成支援

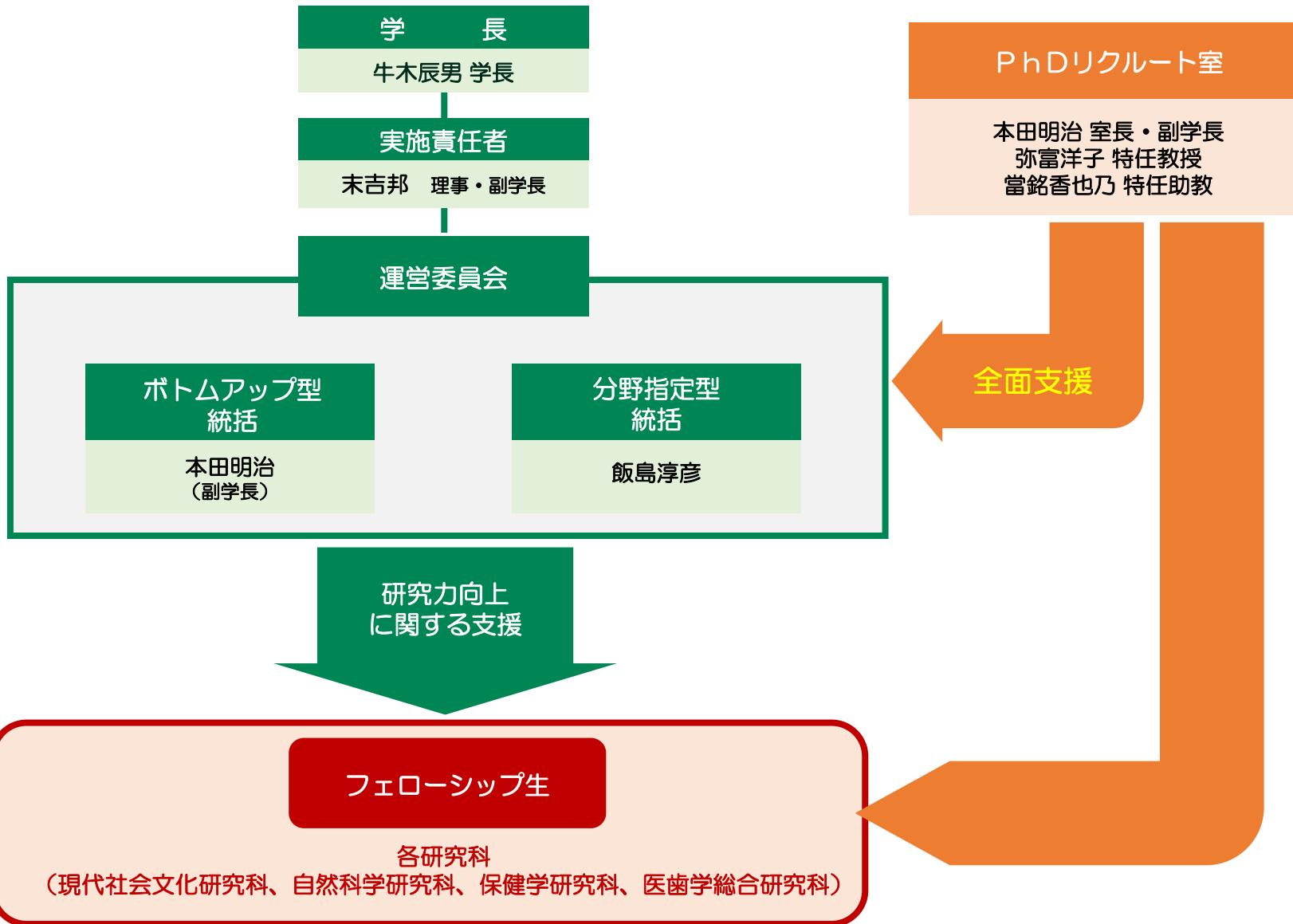
産業界志向とアカデミックポスト志向の両方のメンターを設定し、1年次には両者との面談を、2年次からは対象学生の希望によりどちらかの又は両方の面談を受け、キャリア形成の助けとする。



新潟大学フェローシップ事業体制図

フェロー[®]
シップ

新潟大学



担当教職員：フェローシップ事業

フェロー[®]
シップ

新潟大學



研究・大学院担当理事
副学長

末吉 邦



未来健康科学
統括

自然科学系教授・副学長
PhDリクルート室長

本田 明治



情報・AI
統括

自然科学系
教授

飯島 淳彦



情報・AI
支援

BDA研究センター長
自然科学系教授

山崎 達也



キャリア支援

自然科学研究科
教育研究高度化センター特任教授

永井 直人



キャリア支援

PhDリクルート室
特任教授

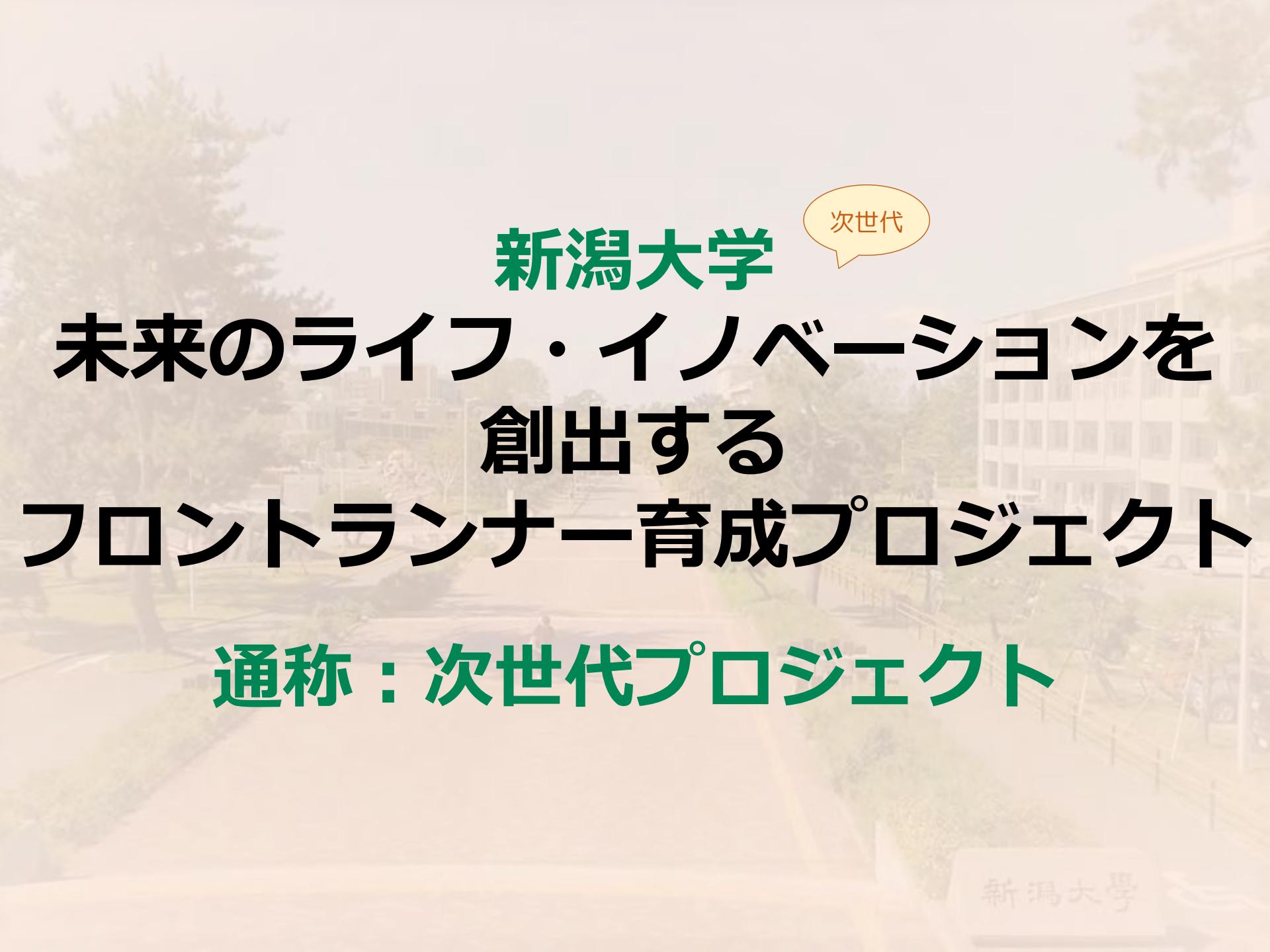
弥富 洋子



キャリア支援

PhDリクルート室
特任助教

當銘 香也乃

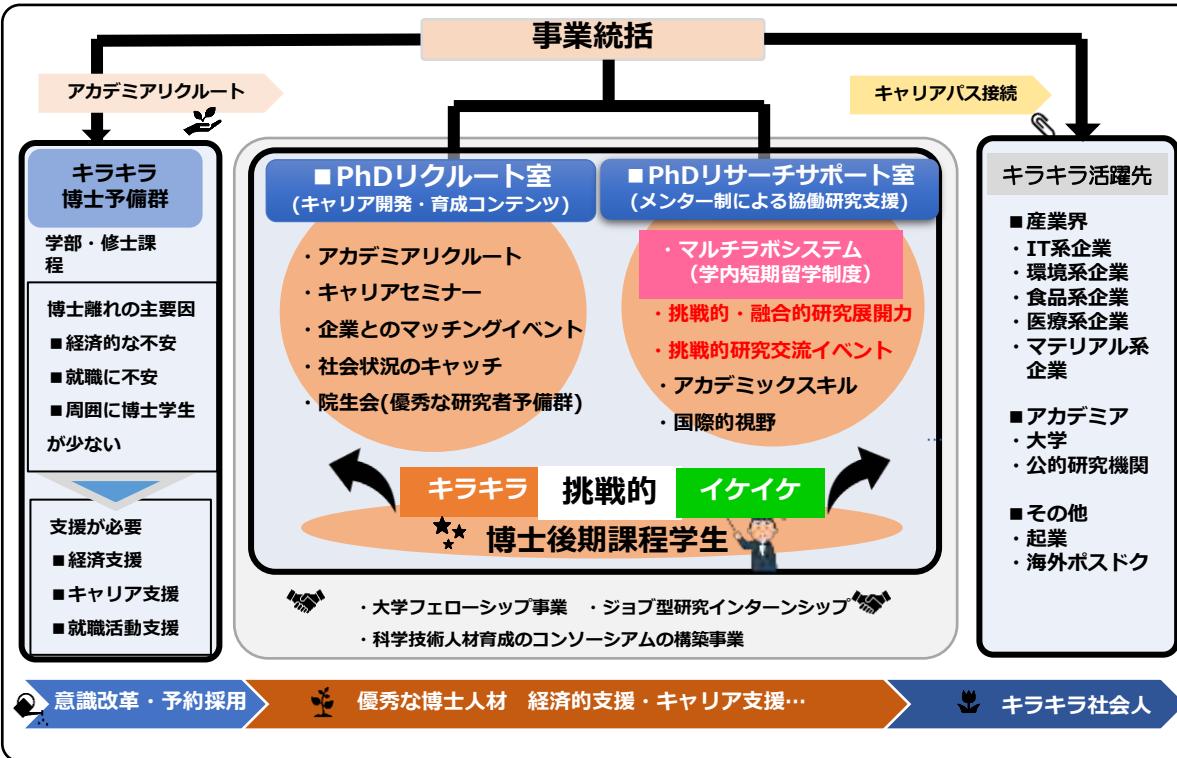


新潟大学

次世代

未来のライフ・イノベーションを
創出する
フロントランナー育成プロジェクト

通称：次世代プロジェクト



全分野を対象に
異分野融合研究の推進
▶マルチラボシステム
(学内短期留学制度)

メンター制による
協働研究支援
▶研究への理解を深め、
アカデミックスキルを獲得

- ・産業界で活躍する博士人材育成の強化
- ・支給金額年220万円（研究奨励費180万円、研究費40万円）
- ・3年間（医歯系は4年間）支援
- ・全学で年間50名（D1～D3は各15名、D4は5名）

申請条件 2. 次に掲げる事項を遵守できる者とする。

- (1) 研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。
- (2) 博士後期課程学生プロジェクトに参加すること。
- (3) 博士後期課程学生交流会に参加すること。
- (4) 研究の進捗状況を確認するため、毎年度末に研究成果報告書を提出すること。
- (5) メンターによる面談を定期的に受けること。
- (6) 修了後のキャリアに関する追跡調査を始め、各種調査に協力すること。



マルチラボシステム（学内短期留学制度）

マルチラボ
システム



■目的

学生が実施する研究の
融合性・学際性を高める

■研究従事期間

各学年で基本**3か月**

■対象

- 分野横断・融合・挑戦的研究を促進するため**新規ラボでの研究を推奨**
- 既に共同研究を実施しているラボも可
- 適切なラボがない場合は学外も可

■運営チームによる サポート

学生の希望に応じて
マッチングを支援

学内の多岐にわたる異分野研究室への短期留学
→専門研究力を基盤に、挑戦的・融合的研究を展開

事例1: Aさん
自然科学研究科
(フィールド科学)



気象学

農業土木
砂防ダム

事例2: Bさん
現代社会文化研究科
(法学)



環境法
パリ協定

工学系
省エネルギー

事例3: Cさん
医歯学総合研究科
(医学)



生活
習慣病

人工知能
ビッグデータ

未来のライフ・イノベーションを創出する、地域で活躍する優秀な博士人材

災害や環境変化に強い
地域未来社会

データ駆動型
超スマート社会

高度医療による
健康未来福祉社会

研究支援内容

- 研究環境整備
- メンター・支援学生との合同ミーティング
- 意見交換会
- URAによる異分野融合研究支援

サポート体制

- PhDリサーチサポート室による**マッチング支援**

PhDリサーチサポート室の役割

① 学生の総合的研究支援

- ・論文作成支援、研究スキル向上
- ・外部競争資金獲得のために～URAとの連携による情報の整理とスキルの向上～

② 学生コミュニティ形成

- ・研究に関わる社会の動向や大学の情報をいち早く共有して研究生活の充実を図る
- ・学生支援制度などの情報提供

③ 分野横断融合的研究機会構築

- ・教職員交流の促進と同時に展開する院生と教職員交流
- ・学内外のトップ研究者との意見交換の場面設定

■ マルチラボ

- ・学内短期留学制度の助言と支援
- ・学内留学期間中の悩み事相談窓口
- ・様々な意見を反映しながら運営体制を整備する→教職員と院生による共創型ラボ

■ メンター制度

- ・院生の研究環境支援
- ・国際学会発表のための情報提供と支援→各分野トップの学内外研究者による支援
- ・一人一人の特性に合わせた支援体制の整備



丁寧な支援と大胆な発想に対する後押しで院生の研究力を高める

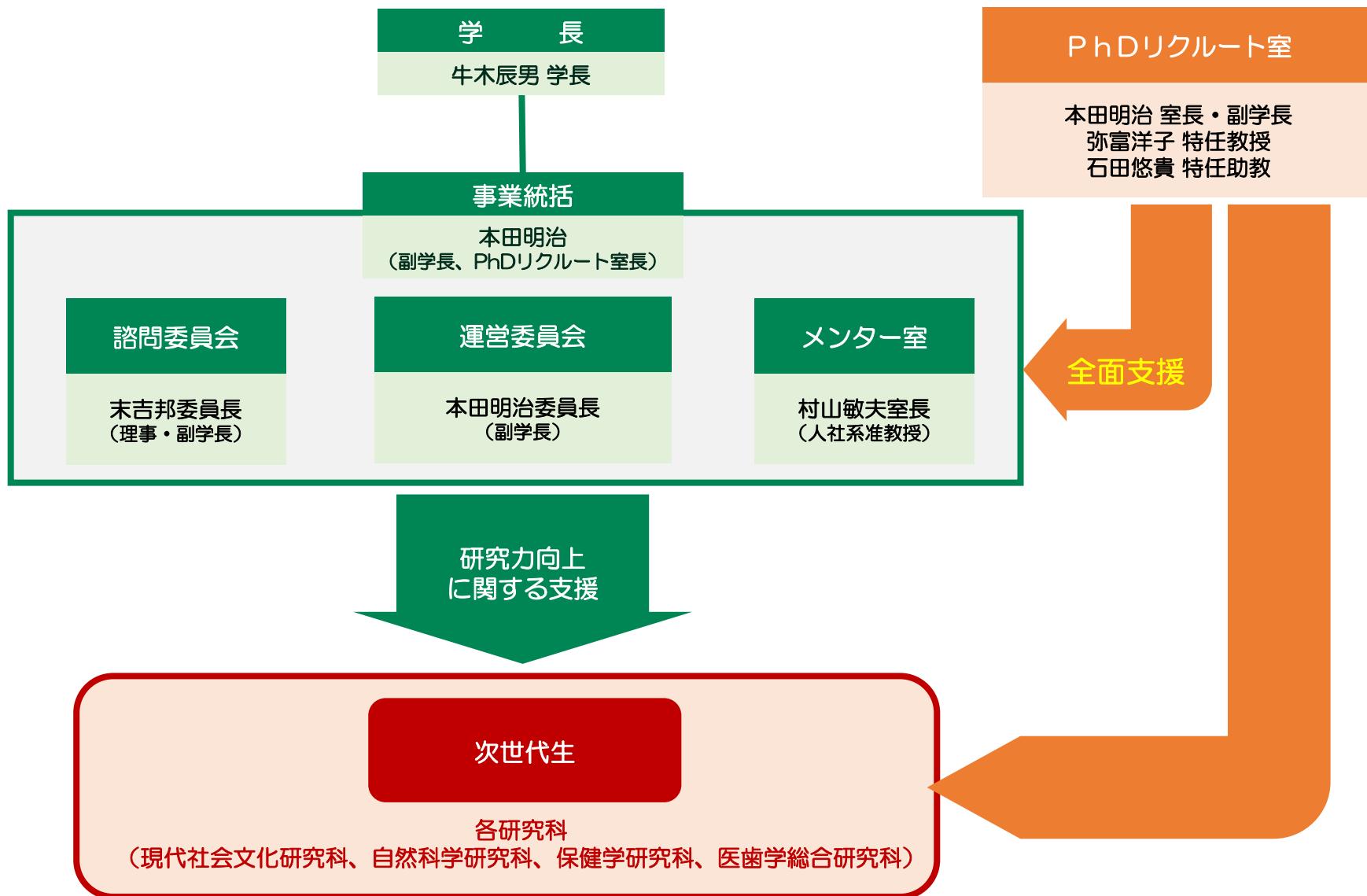
次世代プロジェクトにおけるその他の支援制度

◎ 2023年度継続実施 (支援金額上限目安: 変更になる場合もあります)

- ・基本研究費支援 40万円 (希望による増額10万円)
- ・海外開催の国際学会、海外調査等渡航費補助 15万円
- ・国際的学術誌への論文投稿支援 10万円
- ・自身の研究の補助者への謝金 10万円
- ・マルチラボシステム受け入れラボ支援 10万円
- ・U-goグラント支援金 50万円
- ・トランスファラブルスキル習得支援
アカデミックライティングセミナー (フェローシップ生も受講可)

◎ 2023年度新規実施予定 (検討中のものも含む)

- ・海外短期留学旅費 30万円
- ・キャリア開発・育成コンテンツイベント参加旅費等補助
- ・JST主催博士後期課程学生交流会参加費補助
- ・異分野交流イベント等



担当教職員：次世代プロジェクト

次世代

新潟大學



研究・大学院担当理事
副学長

末吉 邦



自然科学系教授・副学長
PhDリクルート室長

本田 明治



事業統括

自然科学系
教授

飯島 淳彦



運営・審査支援

人文社会科学系
准教授

村山 敏夫



運営支援

医歯学系
教授

寺尾 豊



キャリア支援

PhDリクルート室
特任教授

弥富 洋子



キャリア支援

PhDリクルート室
特任助教

石田 悠貴



研究支援

研究企画室URA
専門職員

武井 教展

Phase 1

テクニカルライティング 基礎編 (日本語)
【オンライン 90分×4回】

Phase 2

↓

テクニカルライティング 上級編 (英語)
【オンライン 90分×4回】

Phase 3

↓

個別論文特化のライティング面談
【オンライン マンツーマン 1回 60分～】

Phase 1 テクニカルライティング 基礎編

論文執筆経験が少ない方や苦手意識を持っている方を対象に、論文執筆の基本的な考え方から学ぶ。英語論文を執筆できるように、日本語と英語の発想の違いや論理構造を学習する

目的 日本語での論文執筆→英語論文への変換法を習得する

対象者

- ・英語論文を作成する必要のある方
- ・英語論文作成が苦手な方

講師 日本人講師（日本語）

形式 オンライン

人数 20名程度

期間 1回90分 × 4回（6月頃予定）

Phase 2 テクニカルライティング 上級編

日本人が弱みとしているライティングスタイルを中心に学習する。

研究論文の書き方と構成の仕方を中心に学習する (*IMRAD方式やAbstractなど)。

意図することを的確かつ明確に表現する方法を学ぶ。 *IMRAD: Introduction, Methods, Results And Discussion

目的 より良い英語論文が書けるようになる

対象者

- ・英語論文を作成する必要のある方
- ・英語論文の構成の仕方を学習したい方

講師 英語ネイティブ講師 兼テクニカルライター（英語）

形式 オンライン

人数 20名程度

期間 1回90分 × 4回（7月頃予定）

Phase 3 個別論文特化のライティング面談

学生それぞれの研究論文に特化してメンターが付く。

論文執筆後に英文添削を行い、添削された論文をもとにネイティブ添削者と1対1で論文の書き方を学習する。

< 英論文執筆力を向上させるための3ステップ >

1. 多くの英論文を読む
2. 英語で論文を執筆する
3. 添削者からのフィードバック …なぜ本人の英語や文章が修正されたのか疑問を解消するべき！

実施の流れ

①各受講者が論文執筆 → 英文添削後に返却（1週間前後）

②1-on-1 Mentoring …各自の論文に特化して指導、フィードバック（1回90分～）

※論文は4000words以内を想定

原則「上級編」受講者対象

期間 原則1人1回90分（6月以降予定）



新潟大学

次世代

フェロー
シップ

PhDリクルート室

新潟大学



博士課程に行こう！



ミッション

意欲ある修士を博士へ誘う！
博士の「真の力」強化！
キャリアパス多様化支援！



特任助教
石田 悠貴

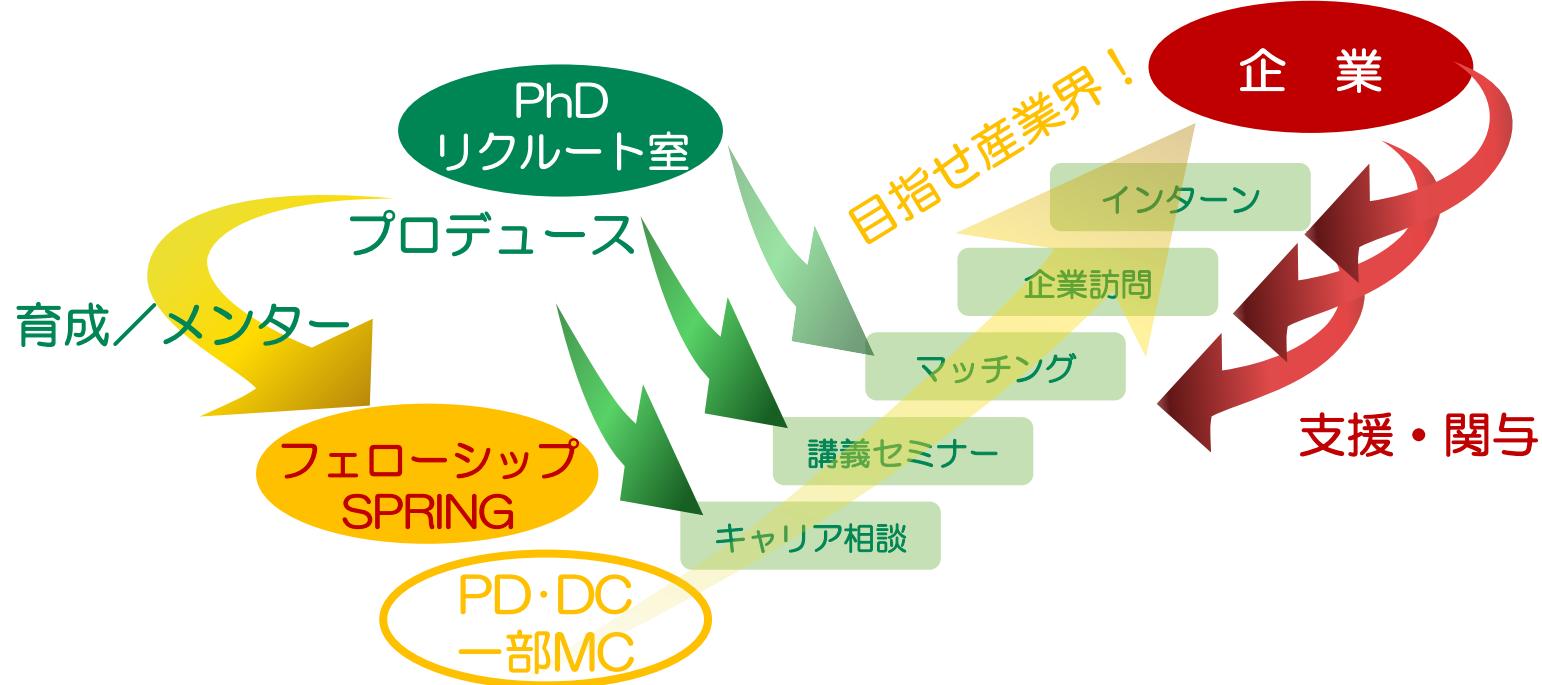
特任教授
弥富 洋子

PhDリクルート室長
副学長、自然科学系・教授
本田 明治

特任助教
當銘 香也乃

事務補佐員
田村 杏奈

PhDリクルート室について



- 【キャリア相談窓口】 博士の進路／修士の進学／フェローメンター
- 【講義・セミナー】 キャリア講義／ジェネリックスキルセミナー
- 【マッチングイベント】 博士と企業担当者の直接マッチングイベント
- 【企業訪問プレゼン】 博士が企業を訪問してのプレゼンテーション
- 【インターンシップ】 J O B 型を意識した博士のインターンシップ

2023年度4月開講 キャリアマネジメントセミナー

2023年度講義

新潟大学PhDリクルート室

キャリアマネジメントセミナー

- 第1・2ターム金曜4限
- 新潟大学PhDリクルート室
- 新潟大学PhDリクルート室
- 新潟大学PhDリクルート室

日 タイトル 構節

7	① 企業の種類と分析 B2B、B2Cとは? 市場分析報告書を読むと企業がわかる!	樋口 直樹 新潟大学PhDリクルート室
14	② イノベーション イノベーションって何? イノベーションを起こすことは?	宗像 基浩 新潟大学PhDリクルート室
21	③ コミュニケーション コミュニケーションとは?	福井 しのぶ ライフスタイル研究所代表
28	④ プрезентーション 専門領域を非専門人にイメージしてもらうプレゼン技法!	小林 隆司 新潟大学PhDリクルート室
12	⑤ 知的財産マネジメント 企業利益の源泉、知的財産マネジメント	藤村 朋子 セントリーホールディングス知的財産部
19	⑥ アントレプレナーシップ 起業とは、スタートアップとはどういうこと?	山下 良一 シースレイサー代表
26	⑦ 新ビジネス創出事例 会社に恵まれないセカンドビジネスを立ち上げる!	脇 奈津子 サントリーモールディングス新潟事業拠点 / 一洋熱風ヒートポンプ
2	⑧ リーダーシップ リーダーシップはどんな時に必要? マネジメントには違うの?	樋口 直樹 新潟大学PhDリクルート室
9	⑨ 企業の事業戦略 企業の進む道を設計する!	貞廣 滋 日本電気(NEC) 事業開拓推進部
16	⑩ 技術と事業① - 化学 - ダイセルの中での技術人生	伊藤 久義 ダイセル・オルネクス代表取締役会長
23	⑪ 技術と事業② - 電子部品 - 世界新進の代表である素材、部材メーカーの実情	佐藤 牧子 スマック技術開発本部副本部長/新潟営業Gニアシニアリーダー
30	⑫ 技術と事業③ - データ - データサイエンスの世界はどのような仕事?	和田 陽一郎 データフォーシーズ執行役員 / D4iアカデミー代表取締役会長
7	⑬ 技術と事業④ - 製薬 - ノーベル賞につながる研究開発?	成田 正見 リキッド工芸株式会社社長/研究開発室長
14	⑭ 技術と事業⑤ - 総合印刷・情報 - 印刷会社はペーパーレスをどう取り切っているか?	太田 美恵 大日本印刷新潟営業本部・事業化推進センター営業第2課課長
21	⑮ 技術と事業⑥ - 繊維・機械 - ロジティクスのイノベーション	加登 久美子 新潟技術開発センター担当員
28	⑯ 技術と事業⑦ - 食品 - 食品企業のイノベーション	菅沼 大行 カニコ新潟事業拠点シニアスペシャリスト

社会で活かせるスキルを学ぶ

博士(前期・後期)課程学生: 2単位

金曜4限



社会で活かせるスキルを学ぶ～演習あり

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

交渉学

講師 関田 浩司 氏 我的的交渉力+しなやかな「対話」力を身に着ける
東京富士大学
経営学部准教授
慶應義塾大学
グローバルセキュリティ研究所
上条晋吾研究員

開催日時 6月7日 (水)

対象 (自然科学研究科)
オンライン (Zoom)
ミーティングIDは申込後に送付

申込方法
以下よりお申込ください。

申込締切
2022年5月10日

プログラム
13:00～講義
1. 心理のわなと交渉力
2. 「対話」としての交渉
3. 交渉における事前準備の方法論
4. 我的的交渉を実現する方法論（基礎編）
14:30～演習
1. オリエンテーション
2. Unit1 事前準備のセッション
3. Unit2 懇親交渉のセッション
4. Unit3 ディスカッションと フィードバックのセッション
5. 質疑応答

準備物
筆記用具

開催日時
6月22日 (木)

オンライン (Zoom)
ミーティングIDは申込後に送付

申込方法
以下のリンクよりお申込ください。

申込締切
2022年5月10日

準備物
筆記用具

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

講師 関 尚弘 氏 プロジェクト ファシリテーション
古河電気工業株式会社
企業における業務推進の実際

開催日時
6月22日 (木)

プログラム
13:00～13:40 はじめに & メーカーで働く博士
13:40～16:00 ファシリテーション演習
16:10～17:00 クロージング＆質疑応答
17:00 終了

オンライン (Zoom)
ミーティングIDは申込後に送付

申込方法
以下のリンクよりお申込ください。

申込締切
2022年5月10日

準備物
筆記用具

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

講師 高原 温子 氏 ビジネスマナー 基礎編
ANAビジネス
ソリューションズ
人材育成コンサルタント
社会人としての振舞いの基本

開催日時
7月13日 (木)

プログラム
1. オリエンテーション
2. 第一印象チェック
3. 印象アップのポイント（5大要素の改善）
4. ビジネスマナー（名刺交換とEメール）
5. 会話のマナー
6. 指導演習（模擬ボスターセッション）
7. まとめ
①解説問題の提出。受講者は問題提出と合わせて回答します。

申込方法
以下のリンクよりお申込ください。

申込締切
2022年5月10日

準備物
筆記用具

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

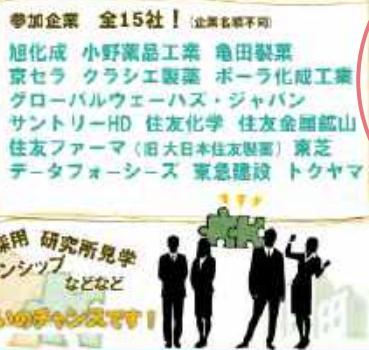
博士(後期) 講義共通科目 2020F9月開講 博士キャリア実現の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー

博士（前期）課程学生：聴講可（単位取得不可）

博士（後期）課程学生: PhDリクルートフォーラムの単位補助講義として開講

2023年度 PhDリクルートフォーラム

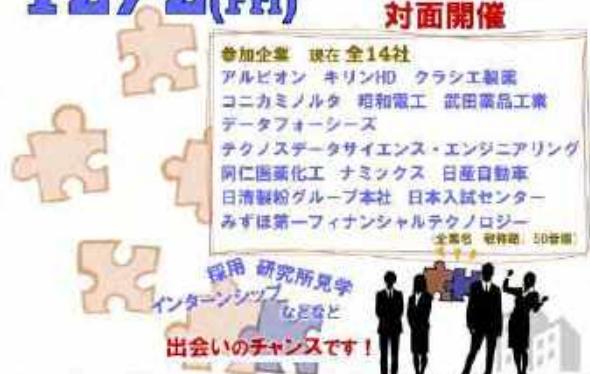
2022 @新潟大学 博士人材と企業とのマッチングイベント
9/20(Tue) 10:00-19:30 対面開催



2023年度
8月30日 (水)
第7回
12月5日 (火)
第8回

2022 @新潟大学 博士人材と企業とのマッチングイベント

12/2(Fri) 10:00-19:30 対面開催



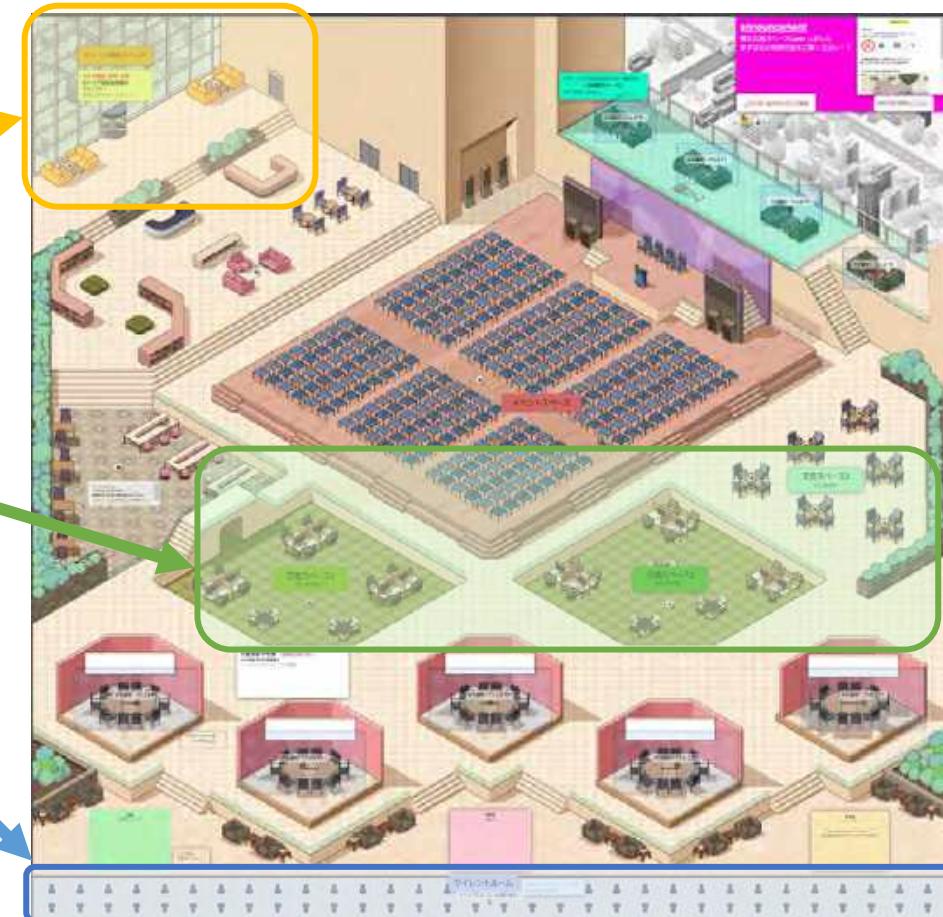
24時間365日オープン！博士のためのオンライン交流スペース



朝PCを立ち上げたら まずはoViceにログイン！
この交流スペースは研究室に次ぐ あなたの第二の居場所です



キャリア相談・メンター相談の予約
→ キャリア相談スペース へ



お喋りがしたい！
→ 交流スペース へ

集中したい！
→ サイレントルーム へ
ちょっと休憩～

クローズドな会話なら… 😊
大人数 → 大会議室
少人数 → 小会議室



事務連絡 大学院支援係

次世代

フェロー
シップ

新潟大学

・PhDリクルート室HPへの学生情報掲載について

フェローシップ事業・次世代プロジェクトに採択された学生の情報は、大学ホームページ等により公表することになります。

所属／氏名／研究分野／指導教員名 等

詳細は、後日メールでお知らせします。

(例)



The screenshot displays a grid of student profiles from the "Fellowship Students" section. Each profile includes a photo, name, research field, advisor, and a link to the profile page.

研究分野	指導教員	名前
現代社会文化研究科・共生生産研究専攻	江雅	LIN Yin
研究分野 指導教員 リンク先	江雅	YIN Liangjun
医歯学総合研究科・口腔生命科学専攻	寺田 花梨	寺田 花梨
研究分野 指導教員 リンク先	寺田 花梨	沢田 誠見
医歯学総合研究科・口腔生命科学専攻	中嶋 優太	中嶋 優太
研究分野 指導教員 リンク先	中嶋 優太	中嶋 優太

・研究倫理教育／コンプライアンス教育について

フェローシップ・次世代事業の研究課題に参画する研究者等は、研究倫理教育およびコンプライアンス教育を受講し、内容を理解している必要があります。

- 本学では博士（後期）課程入学時、APRIN eラーニングプログラム（eAPRIN）により研究倫理教育を実施しています。

R5年4月に博士（後期）課程へ入学した方：

所属研究科から連絡に従って、必ず受講してください。

R4年度以前に入学した方：

入学時に受講済みかと思いますが、受講していない、または内容の理解に不安がある場合は、今一度受講するようにしてください。

R2年度以前に入学した方：

入学時、eAPRINにより受講したか確認し、eAPRIN以外の教材により受講していた場合は、改めてeAPRINにより受講してください。

受講に必要なアカウント情報等については、所属研究科事務室にお問い合わせください。

- 本学ホームページに「コンプライアンス（法令の遵守）研究費等の不正使用の防止」についてのページがあります。

このページに掲載されている内容、特に「コンプライアンス教育」の欄に掲載されている資料を必ず確認してください。

（<https://www.niigata-u.ac.jp/university/about/compliance/research-funds-2/>）

- ・研究専念支援金(フェローシップ事業)／研究奨励費(次世代プロジェクト)
 - ・研究費
- } について

1. 概要

- ・この支援金は、国からの補助金と、一部は企業や一般の方からいただいた寄付金から支給されています。交付目的以外に使用できないほか、交付要綱等を遵守する必要があります。また、企業との交流会等への参加を依頼する場合があります。
- ・実際の経費執行に当たっては、別途配付する資料や、新潟大学会計ハンドブック等に基づき適切に使用してください。
- ・支援対象学生には修了まで

フェローシップ事業 研究専念支援金（生活費相当額） • 研究費
次世代プロジェクト 研究奨励費（生活費相当額） • 研究費

が支給されます。

*在学期間が3年間（4年制の場合は4年間）を超える場合は、以降の期間は支援対象外となります。

2. 研究専念支援金(フェローシップ事業)／研究奨励費(次世代プロジェクト)

フェローシップ事業・次世代プロジェクト共通

- ・月額15万円を2か月毎に支給します。支給日は、原則奇数月の第4金曜日です。
＊受給資格を得た日以前、また取りやめ以降分の支給は行いません。すでに支給されている場合は返還の義務があります。
- ・使途についての制限はなく、未使用分については返還の対象になりませんが、適切に使用してください。
- ・自己都合により休学した場合は、受給資格を喪失する場合があります。
- ・以下に該当する方は重複受給はできません。
独立行政法人日本学術振興会（DC）採択者／国費外国人留学生制度の支援対象者／本国からの奨学金などの支援を受けている留学生

フェローシップ事業のみ

新潟大学大学院博士課程奨学金、専攻等で設けてい
る独自の奨学金制度等による支援金（入学一時金を
除く）及びリサーチ・アシスタント研究奨励費を受
給している場合、180万円からそれらの額を差し引
いた額を支払います。

*本制度では研究専念支援金の一部は上記奨学金等
およびRA研究奨励費として支給することとしてい
るため。

振込口座登録について

2) TA・RA・チュータ・学生臨時業務用
振込口座登録依頼フォーム
(<https://forms.office.com/r/WxFbfJW4R1>)
から、任意の口座を登録してください。

【登録申請期限：令和5年4月20日（木）】

3. 研究費

- 研究活動支援のため、以下のとおり予算配分します。

フェローシップ 20万円／年 次世代 40万円／年

(支援期間が半年以下の場合は フェローシップ 10万円、次世代 20万円)

*研究計画書の研究費使用計画を確認後、執行可能の連絡をします。

- 研究費は、令和5年2月末日までに予算執行を概ね終了するよう、早期の執行に努めてください。やむを得ず3月に執行する場合も、3月末日までに物品等の納品・検収が完了している必要があります。

*年度末に消耗品を大量購入することは「予算消化のための購入」

としてみなされる場合があります。 計画的な経費の執行に努めてください。

- 未使用分については返還していただきます。次年度への繰り越しはできません。

*その他、使用に際し疑義が生じた場合は、発注前に各事務局、

または所属する研究科の会計担当係に問い合わせてください。

＜使用例＞

物品：ハードディスク、試薬、実験用動物、研究に関連する書籍 等

旅費：研究打合せ、研究成果発表 等

その他：学会参加費、研究の補助者への謝金、論文投稿料

公正かつ効率的な使用に努め、可能な限り研究計画書に従って使用してください。
使用に当たっては、必ず新潟大学会計ハンドブックを参照してください。

4. Q&A

Q1 支援対象学生は、扶養義務者（親等）の扶養から外れる必要がありますか？

A1 研究奨励費／研究専念支援金（生活費相当額）は、税法上雑所得として扱われていること等を扶養義務者（親等）に伝え、健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては、扶養義務者（親等）の職場等の担当者へ問い合わせてください。所得税における扶養の扱いについては、お近くの税務署へ問い合わせてください。

Q2 支援対象学生の社会保険、年金の扱いはどうなりますか？

A2 支援対象学生と大学間に雇用関係はありませんので、必要があれば各自がお住いの市区町村で社会保険、年金への加入手続きを行ってください。手続きのために大学からの証明書等が必要な場合は、各事務局へ発行を依頼してください。

Q3 研究奨励費（生活費相当額）は所得税、住民税の対象となりますか？

A3 雜所得と扱われる所以、所得税・住民税の課税の対象となり確定申告が必要となります。

4. Q&A

Q4：他の助成金や奨学金との重複受給は可能ですか？

A4：授業料に対する援助が目的の助成金や日本学生支援機構（JASSO）の貸与型奨学金との併給は可能ですが、相手側機関において併給を不可としている場合がありますので、他に受給している助成金や奨学金等がある場合は必ず確認してください。
(生活費相当額として十分な水準を給付型で提供されるようなケースが仮にある場合は、別途、事務局へ相談してください。)

なお、令和5年度以降に博士課程においてJASSO第一種奨学生として採用された者で、博士課程在学中に本プログラムの支援を受けた者は、
JASSO奨学金の「特に優れた業績による返還免除制度」の適用対象外となります。

【今後の予定】

- 4/12 (水) 採択者合同ガイダンス
4/20 (木) 研究計画書提出期限
4/20 (木) 振込口座登録申請フォーム入力期限
-

研究活動／研究力向上・キャリアパス支援コンテンツへの参加／
メンター面談／マルチラボ実施（次世代生）等

- 3月頃 定例シンポジウム（年度末報告会）
3月下旬 研究報告書提出（最終年度の学生）
4月上旬 研究報告書（および次年度の研究計画書）提出（最終年度以外の学生）

マルチラボを始める前に、
開始届の提出が必要です
(後日メールでお知らせします)

【問い合わせ先】

新潟大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局（学務部教務課大学院支援係）

E-mail: nu-jisedai@gs.niigata-u.ac.jp

新潟大学フェローシップ事務局（PhDリクルート室・学務部教務課大学院支援係）

E-mail: fellowship@gs.niigata-u.ac.jp

PhDリクルート室HPでも今後情報を発信していきます。

<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/>

質疑應答